

11月22日に第3回臨時議会が開かれ、職員の給与条例の一部改正を原案のとおり可決しました。

12月15日から第4回定例会が開かれ、条例2件、土地改良事業の開始1件、動産の取得1件、平成23年度各会計補正予算7件が提案され、全て原案のとおり可決しました。

議会から県知事に「椿山ダム操作規則の見直しと台風12号災害の復興についての意見書」、県議会に「日高川河川整備、治水対策と補助事業のさらなる充実の要望書」の提出について可決、「日高川洪水被害の減災に関する決議について」も可決しました。

前回から決算特別委員会において継続審査となっていた平成22年度各会計決算認定議案は賛成多数で認定しました。

所管の常任委員会に付託された陳情2件は全て採択しました。また請願1件が採択しました。

一般質問は、9議員が台風12号関連の項目などを町執行部にたずねました。

平成24年1月31日に第1回臨時議会が開かれ、平成23年度各会計補正予算6件が提案され、全て原案のとおり可決しました。



第3回臨時議会

● 職員の給与に関する条例の一部改正
 人事院勧告に基づき、官民格差の是正と給与構造改革に伴う昇級抑制の回復を図るものです。
 (賛成12名)

第4回定例会

● 土地改良事業の開始について
 大星地区において農業用配水施設のパイプラインを整備するものです。
 (賛成全員)

● 動産の取得について
 携帯電話不感地域の解消に向けた基地局整備の一環として、本年度、串本地区において無線機器一式を購入するものです。
 (賛成全員)

● 移动通信用施設条例の一部改正
 携帯電話等エリア整備事業の採択を受け、新たな



歯科診療所 (川原河)

● 税条例の一部改正
 平成23年6月30日に地方税法等の一部を改正する法律が施行され、寄付金税額控除の適用限度額の引き下げ、ならびに地方税法における租税罰則の基地局の位置を追加するものです。
 (賛成13名)

● 平成23年度一般会計補正予算(第5号)
 歳入歳出それぞれ4億997万5千円を増額し、予算総額116億4386万円とするものです。
 補正の主な内容は、給与改定等にかかる人件費

に基地局を整備する「大字串本1130番地1」の基地局の位置を追加するものです。
 (賛成13名)

関係の補正と、その他台風12号で災害を受けた地区集会所等の復旧に対する自治振興補助金、中津温泉源泉設備の修繕・復旧等、災害からの本格的な復興のための予算の経費を計上したものです。
 (賛成11名)

問 歯科診療所の再開は怎么样了のか。

答 被災した現在の設備を修繕した上で、同じ場所で診療を開始する見通しになっている。

問 観光施設ゆえに、激甚災害に指定されない中津荘別館や源泉の災害復旧予算の財源はどう組むのか。

答 中津荘別館に係る3200万円の半分(保険で1600万円が給付される)と、源泉の3800万円の計5400万円は、6割程度が交付税措置される災害復旧事業債を起債し、財源とする。
 交付税措置されない4



被災した集会所（上越方）

割は町負担となり、一般財源の持ち出しとなることから、できる限り経費削減をし、全て借り入れることのないようにしたい。

問 財産管理費における公有財産購入費は何を購入するものか。

答 旧早蘇中跡敷地内の倒産企業の社屋を購入したい。町有地の有効

活用をはかるため、評価額の5%程度の105万円を提示されている。

問 災害時要援護者支援システムの特徴は。

答 従来は紙ベースで整備されている要援護者台帳を防災地図に情報として書き入れようと

していた。防災地図ができれば、そこへ防災情報を書き入れることにより、

地域と行政の情報共有と相乗効果を図りたい。

問 災害時要援護者支援システムで変化する要援護者の更新等どうするの。

答 要援護者台帳のシステムで修正をかける。そのデータで要援護者支援システムの地図データを修正していく。

運用は、総務課と保健福祉課との連携で更新していく。

問 猪谷の温泉療養館の復旧方針は。

答 今、検討中であり、近いうちにはっきりとした方針を出したい。

問 今回被災した中津荘別館について、同じ場所へ復旧するのは安全性の面で検討し直すべきと考えるが。

答 同じ場所でも修繕をして、より安全を徹底していく。水害については、事前に気象情報等で十分に把握が可能だ。

問 職員で昇格する

のは何人か。また、給与改定による減額は何人か。

答 7月の昇格で3級から4級になった者が1名、4級から5級に昇格した者が7名、5級から6級に昇格した者が2名。1月昇格を予定している者、1級から2級に昇格する者が9名、2級から3級に昇格するものが10名だ。

給与表の改定で対象となる職員は63名となっている。

問 超過勤務手当が613万5千円となっている。災害対応で9月10日までの分はすでに補正されているが、どうか。

答 応急ではなく、本復旧に向けた業務での超過勤務手当を計上した。

問 浸水によって失われた美山公民館と美山中学校の図書は補充は考えているのか。

答 他の公民館の図書と一般家庭から提供いただいている本で調整し

ている。

美山中学校へは義援のものがあつた。今年度は図書充実のための予算があり、調整して補っている。

問 公共施設の共済受入金は何%になっているのか。

答 風水害については、災害保険がベースになっている。火災の場合は100%、風水害の場合は50%となっている。

問 ガレキ撤去の委託料1400万円の内容は。

答 ガレキが災害直後の見込みより大変多かった。また、消防道路と橋梁の桁に相当量のガレキがあり、特殊機械が必要となった。

問 災害復旧工事の入札の出し方はどのように考えているのか。

答 災害査定が完了した急ぐところから実施したい。

農地については、水田

の春の作付けに間に合うように、優先順位をつけながら発注していきたい。

問 小規模災害復旧事業の内容はどうか。

答 40万円までの小規模な災害に補助していくものである。

問 鳥獣害の防止柵の復旧事業の内容はどうか。

答 県単または町単で設置した鳥獣害施設で被害にあつたところの修繕、または、やり直さなければならぬ分について、県が3分の1、町が3分の1、合わせて3分の2の補助をする。

●平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ1億1262万5千円を増額し、予算総額14億7305万7千円とするものです。

主な内容は、歳入では台風12号で被害にあわれた方の国民健康保険税の

減免措置にかかる減額、歳出では重篤な病床の患者が増えたことによる医療費、御坊市外3ヶ町国民健康保険組合の清算金を財政調整基金への積立金とするものです。

(賛成全員)

問 今回、災害による税の減免措置の対象者があるが、行政から申請を促しているのか。

答 減免対象者については特定できている。申請が済んでいない方には、自宅に申請書、返信用封筒を届けている。また、申請するよう電話もかけている。

●平成23年度国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ48万円を増額し、予算総額1億648万円とするものです。

給与改定等に伴う人件費の改定によるものです。

(賛成13名)

●平成23年度国民健康保険事業寒川診療所特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ244万6千円を増額し、予算総額7178万4千円とするものです。

職員の異動ならびに、給与改定等に伴う人件費の改定によるものです。

(賛成13名)

●平成23年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ314万5千円を増額し、予算総額を11億4896万7千円とするものです。

歳入では台風12号の被災者にかかる介護保険料の減免措置による減額、

歳出では法改正に伴う介護システムの改修の経費を計上したものです。

(賛成全員)

●平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ4億6032万1千円を増額

し、予算総額10億3144万7千円とするものです。

町内の簡易水道施設(7施設)の本復旧のための予算を計上したものです。

(賛成13名)

問 災害復旧事業費の4分の1ほど共済金が下りてきている。各施設の契約はどうなっているのか。

答 美山地区の施設には共済保険金の適用はない。建物の共済に入っていたが、機器類、収容品などに対する共済を掛けているなかった。今回の被害は機器類、収容品がほとんどだった。

早蘇浄水場の場合、共済対象が建物と中の物に分けているが、今回約半分の共済金が見込める。

問 今後、建屋内の機器等も共済加入すべきではないか。

答 美山地区の施設は新しくなるので、共済

加入を考える。●平成23年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2億3728万6千円を増額し、予算総額6億822万8千円とするものです。

町内の下水道施設(3施設)の本復旧のための予算を計上したものです。

(賛成13名)

問 集落排水施設は河川の近くにある。浸水対策を考えているのか。

答 機器類を高い位置に上げるなど、できる限りの浸水対策を考慮して復旧していく。

●平成22年度各会計歳入歳出決算の認定

この議案については、9月議会で決算特別委員会に付託されました。その後、議会閉会中に委員会による審査が行われ、

本議会で審査報告が提出されました。

審査の結果は、次の意見を付けて認定するとうものでした。

1、各種団体への補助金支出について、一定期間は必要と考えるが、補助期間について再考を要する。

2、台風12号災害でわかったことだが、防災資機材整備の中にポータブル発電機の配備についても考慮されたい。

3、歳入面で保育料、住宅使用料、水道使用料、町税、国民健康保険税のところで不納欠損、収入未済額が発生しているが、一層の改善を求める。

(賛成13名)

予算総額133億3609万円とするものです。補正の主な内容は、台風12号に関連したもので、公共土木施設災害復旧費では町道および橋梁、林道施設災害復旧費では林道川合湯ノ又線等の本格復旧のための予算を、また防災諸費では災害廃棄物処理にかかる費用の不足分を計上するものです。

問 年度末を控え、継続事業と今回の災害復旧工事が重なるが、予定どおりできるのか。

答 23～24年度にまたがり、工期をとっているもので、できると考えている。

問 ガレキ処理費が7億円計上されているが、この算出はどのような方法で行っているのか。

答 畳、プラスチック、家電、木くず等にそれぞれ分別し、業者に委託している。

平成24年 第1回臨時議会

●平成23年度一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ16億9223万円を増額し、

●平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ48万2千円を増額し、予算総額14億7353万9千円とするものです。

主な内容は市町村職員共済組合費の負担金率の引き上げに伴う運営費を一般会計から繰入し、日

高川町国民健康保険事業川上診療所特別会計ならびに日高川町国民健康保険事業寒川診療所特別会計へ繰出したものです。
(賛成全員)

●平成23年度国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ26万2千円を増額し、予算総額1億674万2千円とするものです。

市町村職員共済組合費の負担金率の引き上げによるものです。
(賛成全員)

●平成23年度国民健康保険事業寒川診療所特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ22万円を増額し、予算総額7200万4千円とするものです。

市町村職員共済組合費の負担金率の引き上げによるものです。

●平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

市町村職員共済組合費負担金率の引き上げにより増額される20万4千円について、同額を基金積立金より減額するものです。
(賛成全員)

●平成23年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ12万7千円を増額し、予算総額6億835万5千円とするものです。

市町村職員共済組合費の負担金率の引き上げによるものです。
(賛成全員)

平成22年度歳入歳出決算認定審査



龍田安廣委員長

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

えでしのいでいる。

をける手法で進めたところ、一般会計、特別会計ともに、87項目について質疑がありました。

加えて2年連続の職員給与の引き下げで抑え込んでいる。

真摯に対応されました

人件費削減と抑制を図るため、保育と給食調理員といった職員は非正規で雇うことを今後も続けると表明している。

以上のように認定に際しては賛否両方の意見がありました。

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明

第3回定例議会において設置された、議長を除く議員15人による決算特別委員会に付託され、公

室長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長はじめ、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査は、去る11月11日、一般会計の歳入歳出すべてを審査し、また同月30日には、12会計ある特別会計の審査を行い、延べ2日間にわたり慎重なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに、委員からの質問に対し、担当する課が説明